町内の公共施設を

熊野町環境センター・ストックヤード

資源物ストックヤード (右側奥) 保管倉庫 417.85㎡

可燃ごみ等ストックヤード (右側手前) 保管倉庫 155.90m²



担当者から説明を受ける

今月の用語解説

※「指定管理者制度」

平成15年9月に施行さ れた制度。多様化する住 民ニーズに応えるととも に、より効果的、効率的 に、公の施設の管理運営 を行うために民間の能力 を活用しつつ、住民サー ビスの向上を図ることを 目的とする。



(右の写真は、

の拡大写真) き詰められ た汚泥再生資材は、通路脇に敷

確保により輸送費の削減が図れ続、資源物等の中継保管場所のることによる住民サービスの継きごみの直接搬入を受入れでき

施設の効果としては、

引き続

ことで、厚さ10㎝に敷て作られた多孔質の砂機性の汚泥をリサイク 物も、環境にやさしい施設の周りに使用して めると草が生えない 品を使うよう配 が利し、

ることが挙げ

ずげられる。

る

ストックヤ 4月から供用が開始された。

がされてい もごみの種類ごとに丁寧に分別する施設のことで、視察の際に や資源ごみ等を一 -とは、可燃ご

(仮称) くまの・みらい保育園

見取り図

夕

ドを視察し、

全員協議会が開催され完成間近の

「くまの

担当部課と業者から施設概要等に

つ

いての説明を受けた。みらい保育園」(仮称

(仮称)

ڔ

ずれも町民の生活と密接してと、完成した熊野町環境セン

い

去る6月7日(水) ・ストックヤ

いる重要な案件であり、

議会としてもその現況を確認した。

造 RC造2階建 (一部鉄骨造)

施設面積

約2.215㎡

敷地面積

約3.950m²

屋外遊戯場(共同使用) 約2.000m²

定 員

150人





建物の南側から、現場の様子を確認

分対応可能と考え

により、 制度を採用 なってきた。 点施設として、 育てに関す 保育サ る様 管理につ 、民間のアイデア等の活用管理については指定管理者、徐々にその姿が明らかに様々な相談が行える情報拠サービスの提供、また、子 の向上を目指

していかなければならない。開園は、平においても関連する議案等を慎重に審議今年10月中の工事完成へ向けて、議会

Q

活発な質疑が!

A 当面は、 国の出生率向上と 将来的な施設規模 う考えているか。 拡大の必要性をど いう施策を踏まえ、 施設の中で十 現在建設

A協議の上 対応は。 育園 くまの・ 者があった場合の 員以上の入園希望 (仮称) みら 調整し Ū ^

3 くまの議会だより 第59号 くまの議会だより 第59号 2